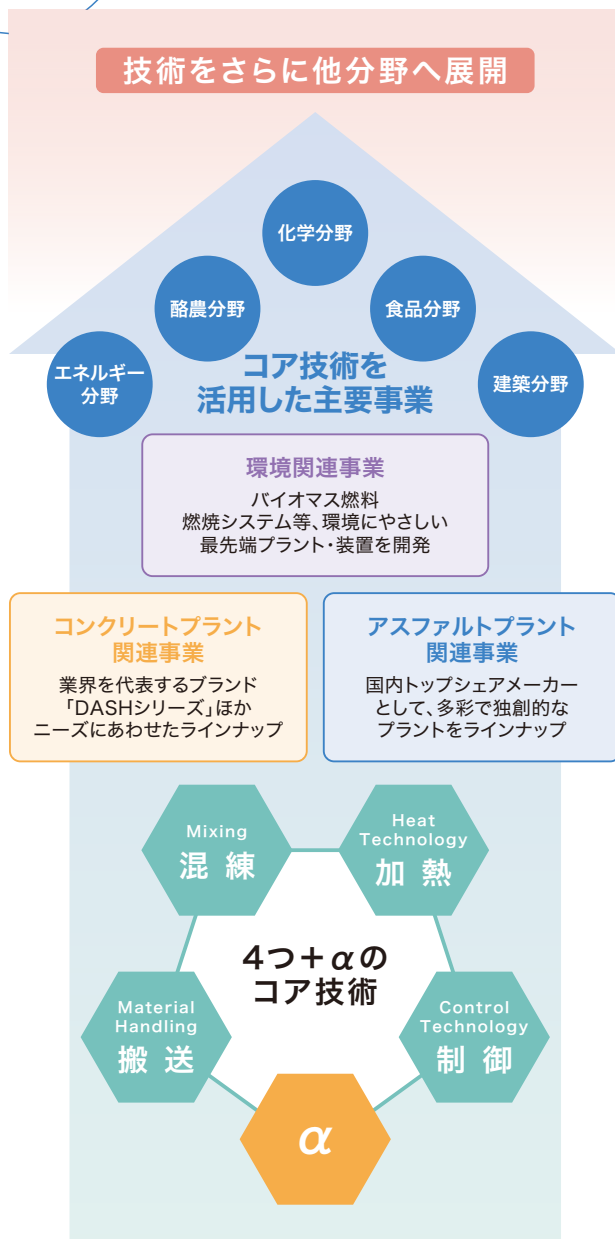


お客様からのフィードバック



日エグループでは価値協創の基盤を強化するために、納入させていただいたプラントや機械に対するお客様の満足度や改善点について、ご意見・ご要望を伺い、それを製品やサービスの品質向上や新たな開発に活かしています。今回は石橋建設興業株式会社様、株式会社DTプレコン様、東京石油興業株式会社様の3社にご協力いただき、お客様の声を伺いました。

お客様の声 ①

【アスファルトプラント】 石橋建設興業株式会社 様



石橋建設興業株式会社様は窯業や鋳物、醸造等の伝統産業で有名な愛知県碧南市に本社を置いています。今回、1981年から使用されていたNAP・U-1000をNAP・VP III-4513ABArに更新されました。今村工場長にその経緯についてお話を伺いました。

Q アスファルトプラント (AP) を更新された経緯を聞かせてください。

A 以前使用していたNAP・U-1000は設置から約40年が経過しており、老朽化によるメンテナンスコストが増加していました。また、突然の故障も頻繁に発生するようになったため、APの更新を決めました。

Q 日エのAPを採用された理由を聞かせてください。

A APの納入実績が豊富で、信頼できるメーカーであること、さらに他の多くのプラントのメンテナンスも手掛けており、部品の供給がスムーズである点が決め手となりました。

Q 新しいプラントを使用されて、どのような変化がありますか？

A 新型プラントのVP IIIでは、安全性と環境への配慮が両立していると感じています。安全面では、再生材をミキサに投入する際にベルトコンベヤ等の移送装置がなくなり、事故のリスクが減ったことで安心してプラントを稼働できています。また、ドライブスルー方式のレイアウトにより、場内でのダンプ車の接触事故を防ぐ効果もあります。さらに以前のプラントにはなかった環境対応が強化され、CO₂排出量の削減や周辺地域との調和が図れており、環境面への貢献度が非常に高いと感じております。

Q 日エに対してのご要望をお願いします。

A 今後もサービススタッフの皆さんに引き続き迅速なメンテナンス対応をお願いしたいと思っています。

お客様の声 ②

【バッチャープラント】
株式会社DTプレコン 様

株式会社DTプレコン様は株式会社竹中工務店と株式会社大協建設の共同出資により、2022年5月に設立されました。主に、建築用のプレキャストコンクリート製品（以下、PC製品）の製造販売を行っています。今回は茂木社長、浅場生産部長、川島管理部長の3名にお伺いしました。

Q 今回の設備導入の経緯を聞かせてください。

A 以前は、近隣の生コン工場から生コンを調達して、製品を製造していました。しかし、将来的にPC製品の需要が増えると予想し、また多様なニーズに対応するために自社プラントを新設し、工場建屋も新築する拡張計画を進めました。

Q プラント建設に際し、どのような点に配慮しましたか？

A 開発申請の制約により、調整池の設置が必要となったため、敷地を最大限活用することを考え、プラント機器の設置面積を可能な限りコンパクトにし、シンプルなレイアウトを採用しました。また、工場周辺には農地もある

ため、環境への配慮も重視して設備を導入し、適切に配置しました。

Q 新型プラントであるDASH Progressをご使用いただいた感想を聞かせてください。

A コルゲートによる材料管理や、高強度ミキサの導入、メンテナンス性への配慮を重視しましたが、どれも問題なく順調に運営できています。特に、ミキサのDASH-Hyperは200Nまでの混練が可能とのことで、今後の新製品開発にも大いに役立つと期待しています。

Q 最後に日工へのご意見、ご要望をお願いします。

A 今回、初めてプラント設備を保有・使用していますので、急なトラブル対応や、定期的な訪問による故障予防のサポートを引き続きお願いしたいと考えております。

お客様の声 ③

【モバイルプラント】
東京石油興業株式会社 様

日本初の油田開発に成功した「アラビア石油」の子会社として1962年に設立されました。現在は富士石油グループに

属し、60年以上にわたり道路インフラ設備を通して、地域社会に貢献しながら成長しています。今回は坂本代表取締役役にお話を伺いました。

Q 自走式インパクトクラッシャと定置式スクリーンを購入した理由と使ってみた感想を教えてください。

A これまで使っていた定置式クラッシャは設置から50年近くが経過し、アスファルトとコンクリートの破碎を交互に行っていました。新たに導入した自走式クラッシャはアスファルト専用で、コンパクトな上にメンテナンス箇所も少なく、性能にも満足しています。ただし、エンジン式のため周辺への騒音が気になる点と、スクリーンの処理能力が少し高いタイプを選べば良かったと感じています。アスファルトは粘着性があるため吸気部分の改善が必要だと感じましたが、全体的には満足しています。

Q また、2023年10月に自走式ジョークラッシャとインパクトクラッシャを2台追加で購入されましたが、その理由と評価を教えてください。

A 今回追加購入した2台のクラッシャは、コンクリートの破碎専用です。以前はアスファルトとコンクリートを1台で交互に破碎していましたが、混ざることによって製品の品質に問題が生じていました。これがクラッシャを分けた主な理由です。使用してみたところ、破碎力が強いので、今後は天然石の破碎も検討しています。また、定着式に比べてメンテナンスにかかる時間が短く、その分、稼働時間が長くなっている点も評価しています。コンクリート破碎に関して気になる点はありません。